

2021年3月20日(春分)

## ●松山・白石の鼻巨石群振興会の設立総会

(20分)

代表挨拶

役員紹介

## ●白石の鼻巨石群プレゼン(30分)

①活動ビデオ5分間

②白石の鼻巨石群の魅力

③これまで12年間の活動&これからの活動

# 松山・白石の鼻巨石群振興会

## 令和3年役員

- ・代表：仲矢文和（高浜公民館長）
- ・副代表：森茂喜（高浜町）
- ・副代表：二神君人（高浜町）
- ・会計監査：武智国吏（勝岡八幡神社宮司）
- ・事務局長：篠澤邦彦（会社員）
- ・自治体担当：毛利雄一郎（公務員）
- ・監事：大石寿郎（自営業）
- ・理事：福井ひとみ（自営業）

## 外部顧問

- ・前田 眞（愛媛大学社会連携推進機構 地域連携コーディネーター）

# 松山・白石の鼻巨石群振興会

～これまでの活動とこれからの活動～



R3/3/20(春分の日)

篠澤邦彦

# 松山・白石の鼻巨石群での活動紹介

- 2008/01 白石の鼻巨石群の調査活動を開始  
2008/3/22 春分の夕日のラインと「三ツ石」の空洞が一致していることを発見  
2008/6/20 夏至の夕日のラインと「夏至の三ツ石」の配列が一致していることを発見
- 

2008/9 秋の夕日の観賞会を初開催！

2009/4 調査委員会発足(5名)

2009/12 亀石の空洞が冬至のラインと一致していることを発見

2009/6 松山市・坂の上の雲フィールドミュージアム活動支援事業に採択  
(5年間連続)

・夕日の観賞会は13年目 **50**回開催！

・シンポジウム **7**回目！

・磐座学会(全国大会)での発表 **4**回！

延べ**1万人以上**には「白石の鼻の素晴らしさ！」を伝達！

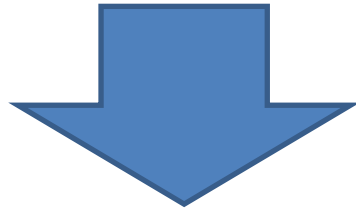
NHK、あいTV、愛媛CATV、全国紙4紙、愛媛新聞等報道多数！



～これまでの12年間～

調査研究 & 情報の伝達をメインにしてきた。

**白石の鼻巨石群の魅力**



**世界の古代遺跡  
との類似性**

# エジプト：三大ピラミッドとスフィンクス（世界遺産）



主流の説では、紀元前2500年頃  
古王国時代（クフ・カフラー・メンカフ  
ラー王が）建造。



北



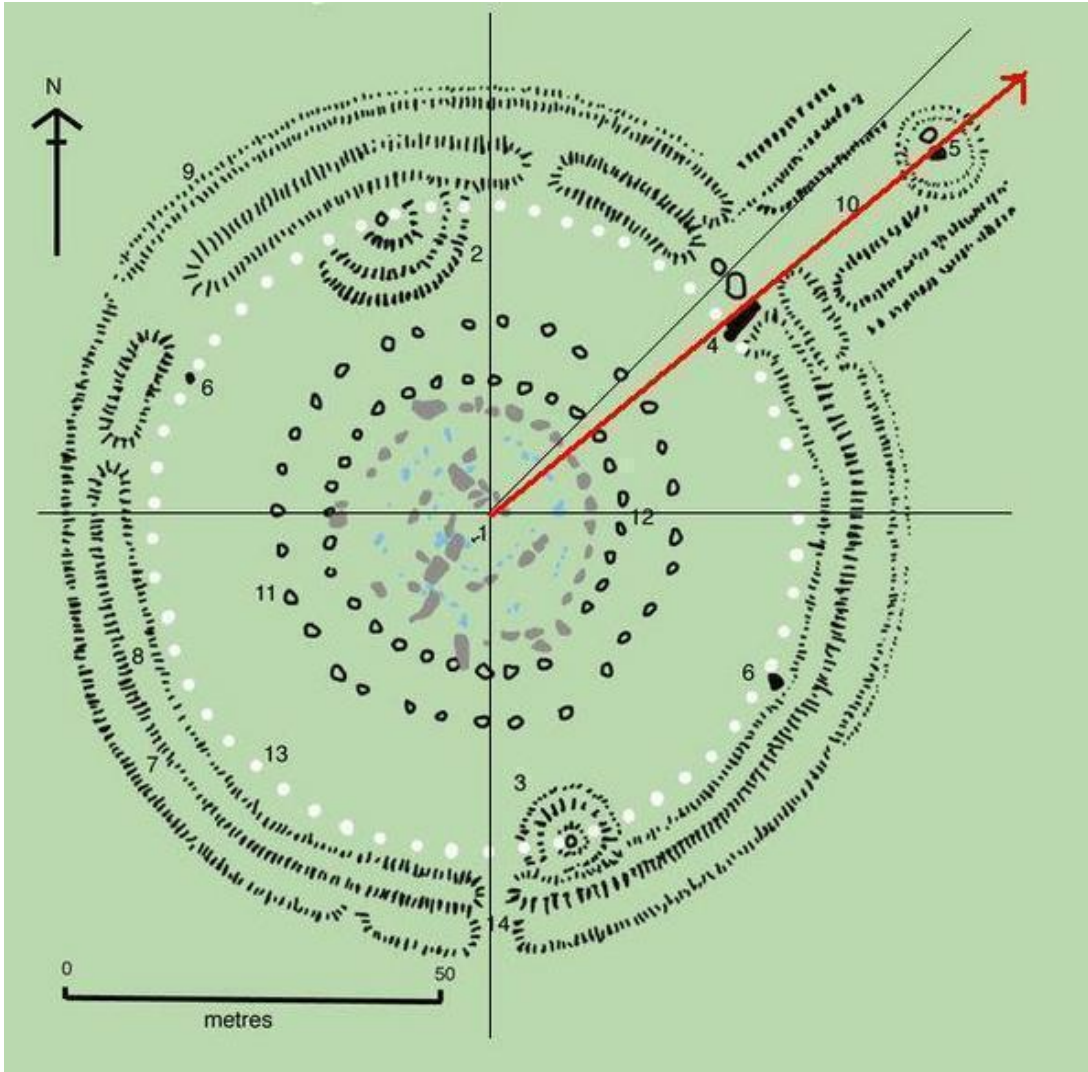
東



# 英国・ストーンヘンジ(世界遺産)

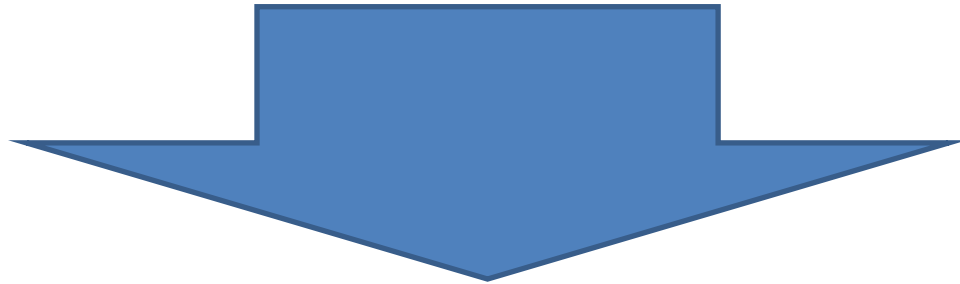


紀元前2600年～2000年頃建造か？



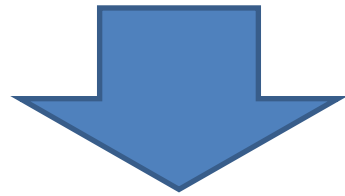
夏至の朝日に合わせている。

- 古代遺跡は太陽や星と連動しているものが多い
- 実は、松山にもそれらに匹敵するものが存在する！



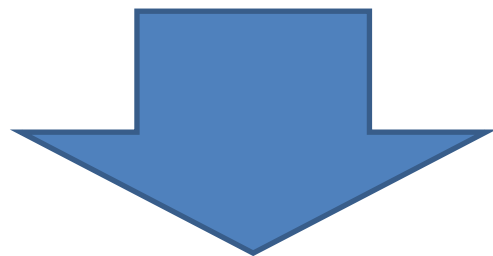
➤ **松山・白石の鼻巨石群**

「白石の鼻巨石群」の形状(空洞)と  
配置は太陽軌道と合っている！



伊予のストーンヘンジ

「太陽軌道と合っている」というのは100%事実！



再現性がある！

# 春分(秋分)頃の太陽光線



# 夏至前後の夕日



夏至の三ツ石に差し込む夕日

# 春分(秋分)頃の夕日、直接光





# 冬至前後の夕日

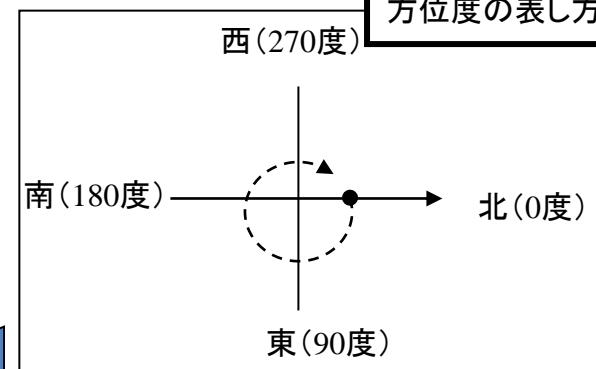


冬至前後、亀石のわずかな隙間を通過する神秘的な光

# 「白石の鼻」の巨石群の主な構成

H23.6作成

方位度の表し方



※夏至、冬至頃の日の入り

白龍石(三ツ石)

夏至の三ツ石

冬至石

亀石

冬至の双子岩

※春分秋分頃の日の入り  
(9/23=270.2度)  
直前の太陽光線

白石の鼻

約30度  
(28.2度)

約30度  
(29.1度)

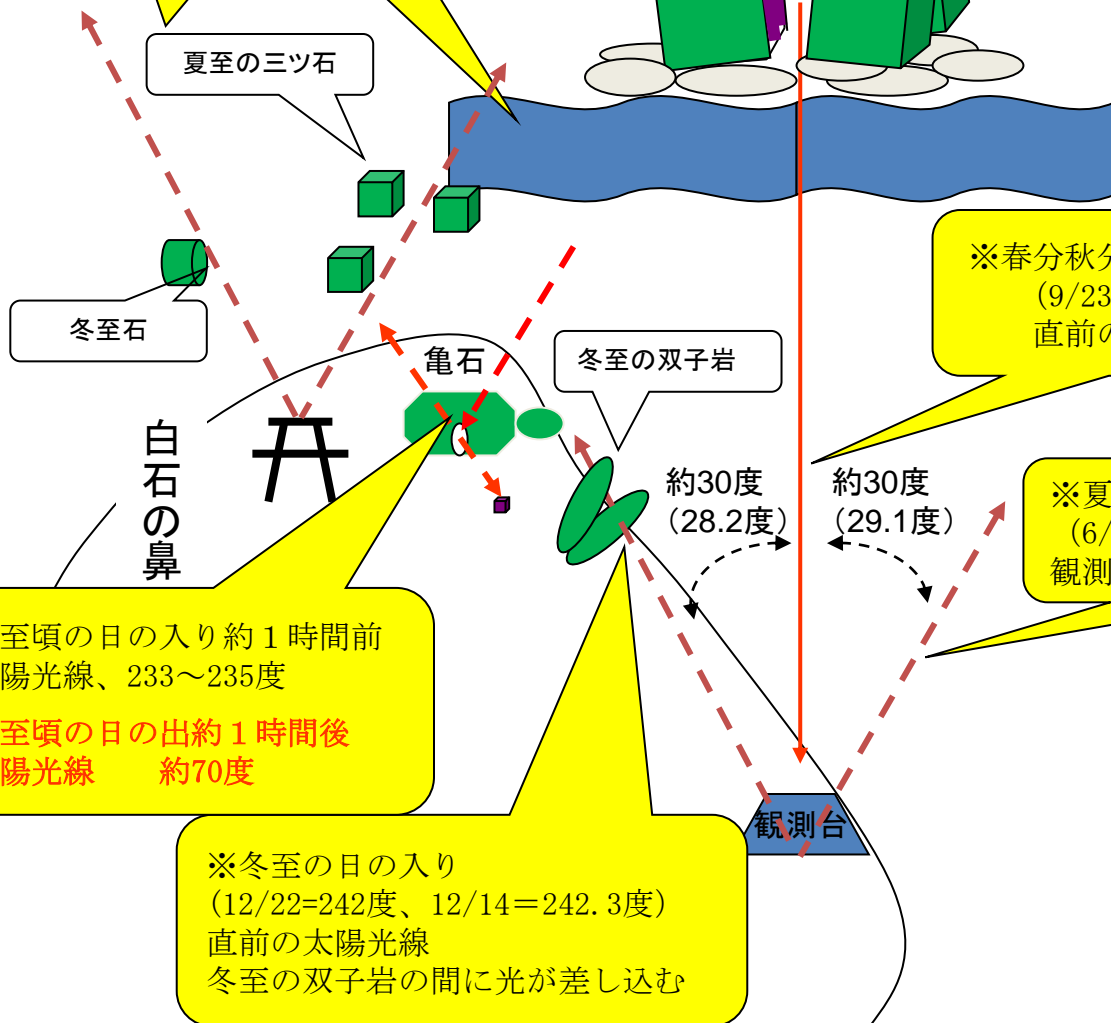
※夏至頃の日の入り  
(6/22=299.3度)  
観測台の側壁に沿って沈む。

※冬至頃の日の入り約1時間前  
の太陽光線、233~235度

※夏至頃の日の出約1時間後  
の太陽光線 約70度

※冬至の日の入り  
(12/22=242度、12/14=242.3度)  
直前の太陽光線  
冬至の双子岩の間に光が差し込む

観測台



# 琉球大学名誉教授・海洋地質学者：木村政昭氏



「石の組み方など自然科学的な面からは説明できず、200%遺跡に間違いはない」(H24/9/23 愛媛新聞報道記事より)

# イースタ島のモアイ修復に携わった世界的石工・左野勝司氏

2013/9/23  
(毎日新聞愛媛版より)

## 白石の鼻「ロマンの巨石」

松山でシンポ 左野さん講演



白石の鼻巨石群についての見解を語る左野勝司さん(左)＝松山市道後町2のひめぎんホールで

松山市高浜町6の海岸にあり、遺跡説も浮上する「白石の鼻巨石群」を巡るシンポジウムが22日、松山市のひめぎんホールであった。世界的な石工、左野勝司さん(70)＝奈良市＝が、前日に実施した現地視察も踏まえ講演。巨石群が自然か人工か即断は避けだが、「ロマンのある大きな石」と語り、地元での

調査進展に期待した。巨石群は花こう岩が重なった「三ツ石」などで構成。シンポを主催した住民団体「松山・白石の鼻巨石群調査委員会」が、これまでに春分、秋分などにすき間を夕日の光が通過することなどを確認。「古代の天体観測施設では」と指摘し、話題を集めている。左野さんは、高松塚

古墳(奈良県明日香村)の石室解体やイースタ島のモアイ修復を手がけた石のプロ。これらの経験談を語ったほか、白石の鼻についても見解を披露した。

「わざわざ巨石で作ったとすれば、何の必要性があったのか」と、理由が見当たらないことに首をひねった。一方で、割られたような断面の石があることに、「自然とは言い切れない。何かロマンがあり、もっと調査が必要だ」と指摘。過去の地震でも崩れていないバランスにも驚き、「(自然でも人工でも)想像できないようなことになっているのは現実だ」と語った。【中村敦茂】

過去の地震でも崩れないバランスに驚き「自然でも人工でも想像できないようなことになっているのは現実だ！」

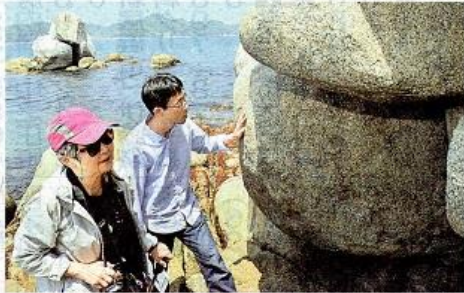
# 安土城の石垣を造った石工集団の技を受け継ぐ 穴太衆・第14代栗田純司氏



「巨石群は重心を考えたような構造になっている」  
として人工物との説に理解を示した。

(愛媛新聞2014/9/14)

冬至に夕日が差し込むという巨石の空洞を確認する夏山さん(左)



### 巨石群「白石の鼻」探る

松山 米国在住学者が視察

国内外で巨石群の調査を行っている米国在住で日系3世の宇宙物理学者ハリエツト初音夏山さん(78)が14日、松山市高浜町6丁目の「白石の鼻」を訪れ、沖合の巨石群を視察した。

夏山さんは岐阜県の高山巨石群調査資料室のアドバイザーを務めており、同巨石群に関する本日の出版打ち合わせのために来日。本日は正確に季節を観測できる白石の鼻巨石群にも触れる予定で、初めて来県した。

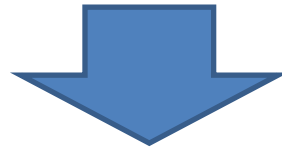
松山・白石の鼻巨石群調査委員会の篠沢邦彦さん(52)から研究成果の説明を受けた後、船に乗り間近で観察。夏山さんは春分と秋分に太陽光が通過すると、

「古代人によって造られたとしたら、技術だけでなく美術的にも素晴らしい」と感じました。

篠沢さんは「海上にある巨石群は例がなく貴重なもの。世界に認めもらうチャンスだ」と思っており、今後の研究に意欲を燃やしている。

(山本茜)

# 米国の宇宙物理学者 ハリエツト・初音・夏山氏が来訪



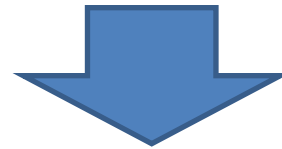
## 「古代人によって造られたとしたら、技術だけでなく美術的にも素晴らしい」

(2016/5/15 愛媛新聞)

- 宇摩支社  
☎0896(23)2321  
FAX(23)2819
- 新居浜支社  
☎0897(37)2341  
FAX(37)3521
- 西条支局  
☎0897(55)2042  
FAX(53)2368
- 東予支局  
☎0898(64)2063  
FAX(65)4093
- 今治支社  
☎0898(22)5119  
FAX(31)1812
- 伯方支局  
☎0897(72)0031  
FAX(72)2547
- 上浮穴支局  
☎0892(21)0379  
FAX(21)2056
- 大洲支局  
☎0893(24)3256  
FAX(23)5238

# ツタンカーメン王墓の隠し部屋を調査した！

## 地中レーダ探査技士 (故)渡辺広勝氏！の講演会



「当時陸地だった場所に古代人が築いた可能性がある」と指摘。  
(愛媛新聞 平成28年9月21日)



白石の鼻の巨石群の人工説や活用策などを語り合ったシンポジウム

松山「白石の鼻」の巨石群

## 1万年前 陸地に築造!?

シンポで仮説や研究成果

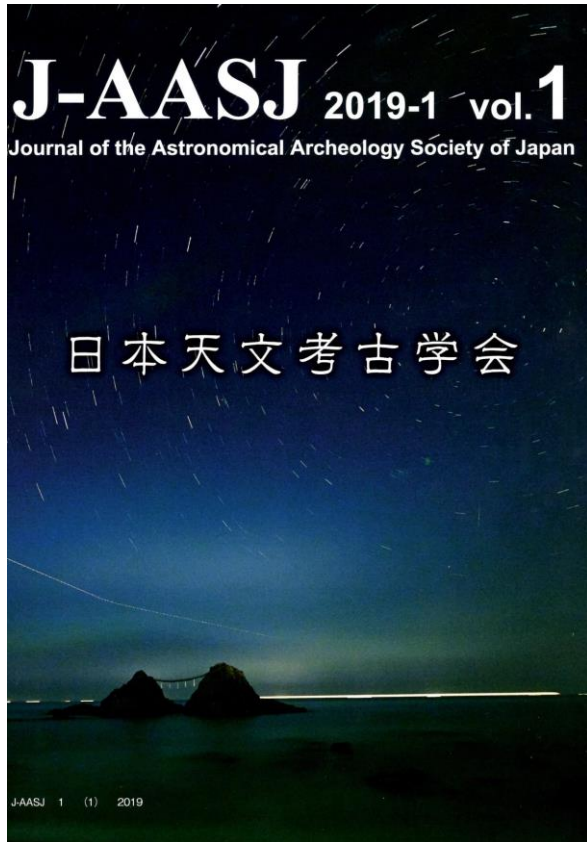
松山市高浜町6丁目「白石の鼻」付近にある巨石群を考えるシンポジウムが18日、同市梅津寺町の高浜公民館であり、調査に携わる関係者が巨石群の成り立ちに関する仮説や研究成果、地域活性化への活用策を語った。松山・白石の鼻巨石群調査委員会(仲矢文和代表)の主催で、歴史愛好家や住民ら約30人が参加した。エジプトのツタンカーメン王墓など国内外の遺跡の調査に携わった地中レーダー探査技士の渡辺広勝さん(74) || 横浜市 || は巨石群について、約1万〜1万5千年前ごろ、当時陸地だった場所に古代人が築いた可能性がある」と指摘。巨石の「三ツ石」は「海上から見るとまことに人の顔」と述べた。

台古墳と石の組み方などに共通点があるとして人工説を強調。イベント開催や保全などを担う会費無料の「松山・白石の鼻愛好会」を1日に立ち上げたことを報告し「愛媛が誇る神秘的で貴重な宝。千年後も残るよう守ろう」と訴えた。同会によると、三ツ石の隙間には春分から約1週間と秋分までの約1週間、夕日が差し込む。夏至や冬至には別の巨石で同様の現象が起きる。

(菅亮輔)

# 日本天文考古学会に論文を発表！

2019年1月



J-AASJ  
Journal of the Astronomical Archeology Society of Japan 1 (1) 2019

の春分前後の観測を3月15日、春分の日（3月20日）から5日前後に開催したのである。ところが前日に、太陽の日の入り等を確認すると全く、三ツ石に30分程度の位置にはさそうになく、まだもっと南に北に大型である。当日の観測には地域の方など30名程度より観光客の訪者も呼んでいた。ところが当日は三ツ石を上りもっと南に北に、地域の方からは、「もっと三ツ石が南にあったら入るけどな」など、落胆の声や、嘆息があったのである。これも後から考察するとこの失敗の原因はよく理解できた。春分と秋分頃の太陽の動きはとも違わず、おおよそ、春分と秋分頃の太陽の動きは1日で0.5度変動する。5日遅れればその差は約2.5度である。また、秋分の太陽軌道は北から次第に南へ南下している。観測ポイントから三ツ石を望むと、右から次第に左へと日の入りの位置を変える。春分は逆に、南から次第に北へへと（左から右へ）日の入りの位置を変えるのである。

観測ポイントから見て、三ツ石の空間は方位角約269.5度（ほぼ真西）に開口している。つまり、太陽が水平線上で、方位角270度より北側に沈むときは太陽が空間を通過して、それより南側に沈むときは空間を通過しないのだ。三ツ石の開口部が方位角270度ピッタリに合わせていないのもよく理解できる。前方に興居島の低い山並みがあり水平線に比し、より南に南に沈むからだ。

その昔は、自然の真西と三ツ石の二重の太陽軌道と日の空間や形状、配置との関連性を完全に解明した日である。

### 6.太陽軌道の正確性

筆者は、地域に対して三ツ石の観測会などのイベントを主催しながら、観測を経て、当初、天竺や約1000年前に旅行したのが真西に精度を高めようとした。最初に春分（3月21日）頃の日の太陽軌道と三ツ石の空間性を観測した事は、その間接的かつ（3月21日）から4月10日頃の春分（3月21日）前後の日の入りと三ツ石の開口部を測ることで確認した。その結果、翌年

これは、長年観測したのが正確に、観測ポイントから見ると春分の日から光は通過を止めて約1週間、集める。そして、秋分の日までの約1週間前から止めて、秋分の翌日は空間に入らないのである。

これを、筆者は「春分に龍が舞い降りて、秋分に龍が舞い上がる」と信憑的に説明している。筆者は、マヤ文明の「チチュン・イツァの道跡（クルカン神道）」が、春分（秋分）にピラミッドの階段と太陽が降りた光と影で大蛇（クルカン）の降臨を表現しているのと類似性を感じる。

緯度	経度	標高	0.0m
2019.3.19	18.11	272.0m	
2019.3.22	18.09	271.0m	
2019.3.21	18.08	271.0m	
2019.3.21	18.08	270.0m	
2019.3.23	18.05	270.0m	
2019.3.24	18.04	269.0m	
2019.3.25	18.02	268.0m	

これは春分頃の日の入りの位置である。

これを、筆者は「春分に龍が舞い降りて、秋分に龍が舞い上がる」と信憑的に説明している。筆者は、マヤ文明の「チチュン・イツァの道跡（クルカン神道）」が、春分（秋分）にピラミッドの階段と太陽が降りた光と影で大蛇（クルカン）の降臨を表現しているのと類似性を感じる。

春分（秋分）にはこのスリット線に日の入り頃の太陽はより、神秘的な光景が観測されているのである。

これは春分頃の太陽の軌道。つまり、当初、筆者は三ツ石の空間を通過した太陽光が南側に映るのを観測していたのだが、真西の開口部を望む東西ライン上で、もっと精度を上げて、真西の開口部を望むのが正しい利用方法だと判断した。ただし、平常時の平均海面ではこの太陽光が開口部には行けず海面上に昇る必要がある。

春分点を測るスリット線

クルカン神道は、ピラミッドの階段で影ができるように東西南北の軸を真西から17度傾けて建造している。真西から太陽の光を受けると影が落ちるからだ。

ピラミッドを真西から17度傾けている！  
太陽の動きを熟知している！

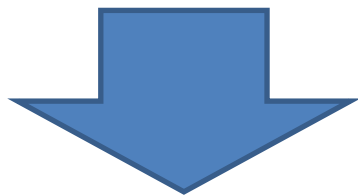
西  
東  
南  
北

クルカン神道の方位図

© 2019 The Astronomical Archeology Society of Japan



**～これからの10年～  
地域活性化へ如何に活用して行くか。**



**松山・白石の鼻巨石群振興会へ**

## 第3条(目的)

この会は松山市高浜町の松山・白石の鼻巨石群を中心に他団体や組織と連携しながら松山西部地区、島嶼部の観光・文化を中心とした地域活性化に寄与することを目的とする。

## 第4条(事業)

- ① 地域住民を主体とした季節の二至二分(夏至・冬至・春分・秋分)での夕日の観賞会・観測会の実施
- ② シンポジウム、ウォーキング等のイベントの実施
- ③ 白石の鼻巨石群の保全活動及び保全への提言活動
- ④ 外部へのホームページ、ブログ、勉強会等による情報発信
- ⑤ 瀬戸内海周辺の巨石文化の調査研究を行うための調査機関として松山・白石の鼻巨石群リサーチセンターの設置、運営

# ①夕日の観賞会



## ②ウォーキング～白石の鼻から経ヶ森周回



### ③環境整備～説明板の整備や海岸清掃

## 白石龍神社 案内

白石龍神社は、地元では

(龍宮の転訛か)

「りゅうぐんさん」と呼ばれ  
親しまれています。

境内の由来碑にもあるように、その由来はよく分っていません。最近迄、道もなかったこの場所になぜ祀られたのか。

早魃の時には「雨乞い」が行われたといわれ七月六日(七夕の前日)に大祭が行われているので、海とか雨、水を祀った神社かと考えられます。

最近では地元で「三ツ岩」と呼ばれている石組みの巨石文化との関係でパワースポットとして若い方の参拝も多くなっています。

参道は波しぶきがかかるとも参り下さい。又落石にも注意してお参り下さい。

白石龍神社は、高浜六丁目町内会が、維持管理をしています。百戸余りの町内であり広く寄付を募っています。

お志を左記にお寄せ頂ければ幸いです。

松山市高浜六丁目町内会

松山市農協新浜支所

口座番号 (43948963)

白石龍神社奉賛会

# 50万フォロワーを誇る観光サイト「瀬戸内Finder」さんに掲載していただきました。

← → ↻ 🏠 <https://setouchifinder.com/ja/detail/28536>

会員登録 ログイン 交通情報     日本語 

 記事一覧 特集 グルメ ホテル・宿 アート クルーズ サイクリング おみやげ・お取り寄せ

瀬戸内Finderトップ > > 自然 > 愛媛県 > 松山市 > 伊予のストーンヘンジ!? 海辺の“ありえない”巨石ミステリースポット／白石の鼻巨石群 (愛媛県松山市)

2020.1.21   

## 伊予のストーンヘンジ!? 海辺の“ありえない”巨石ミステリースポット／白石の鼻巨石群 (愛媛県松山市)

 by 松岡 広宣

 シェア  ツイート  はてブ  シェア

 お気に入り

### 松山観光港の近くにミステリースポットが!?



**せとうちを  
応援してください**

『瀬戸内Finder』を運営するせとうちDMOでは、新型コロナウイルス感染症の影響下において域内で広がる様々な活動を紹介しています。

[▶せとうちDMOメンバーズFacebookページはこちら](#)

### Release 瀬戸内リリース

> リリース一覧へ

-  愛媛県南予地域における観光型MaaSの実証実験を開始
-  瀬戸内ブランドコーポレーションとKDDI、瀬戸内エリアを動画で紹介する「せとうちチャンネル」...
-  「せとうちショッピングアール」6月8日ロー...

# 松山市の観光スポット30選。道後温泉だけじゃない！四国最大級の街、愛媛県のおすすめ。



## 10.白石の鼻巨石群



海面上に浮かぶ神秘的な花崗岩の巨石群。自然に積み上げられたものと言われていましたが、近年になり岩の中央部の空洞から春分、秋分の前後の数日間に夕日が差し込むことが判明し、古代の太陽観測装置などではないかと調査が進められているそうです。

また一方では、岸边から海上にかけて人工的に積み上げられたとされる形跡も発見され、謎はますます深まります。。。パワースポットとして注目を集めています。

# 第10位にランク



# ～阪急交通社～ 四国パワースポットツアー (1/28)



## 第3条（目的）

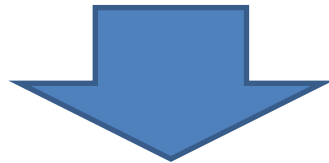
この会は松山市高浜町の松山・白石の鼻巨石群を中心  
に他団体や組織と連携しながら松山西部地区、  
島嶼部の観光・文化を中心とした地域活性化に寄与  
することを目的とする。

## 第5条(会員)

この会の会員は、第3条の目的に賛同して入会した以下の者とする。

(1) 正会員：団体の活動、運営に携わる個人又は団体  
⇒1000円/年間

(2) 賛助会員：団体の活動を応援する個人又は団体  
⇒無料



会員を募集開始します。

私たちの活動の趣旨にご賛同いただける方のご参加をお待ちしています。



白石の鼻巨石群の素晴らしさを1000年先に伝える活動に参加しませんか？